

2018年9月3日

脳梗塞患者を対象とした Muse 細胞製品の探索的臨床試験の開始について

株式会社生命科学インスティテュート

株式会社生命科学インスティテュート(本社:東京都千代田区、社長:木曾 誠一、以下「当社」)は、脳梗塞患者を対象とした Muse 細胞製品「CL2020」の探索的臨床試験を東北大学病院にて本年9月中旬から開始することとなりましたのでお知らせ致します。Muse 細胞製品「CL2020」としては、本年1月に開始した急性心筋梗塞に次ぐ第二の対象疾患の探索的臨床試験となります。

Muse 細胞 (Multilineage-differentiating Stress Enduring cell) は、2010年に東北大学の出澤真理教授らのグループにより発見された、ヒトの多様な細胞に分化する能力を有する多能性幹細胞です。もともと生体内の間葉系組織内に存在する自然の幹細胞であることから腫瘍化の懸念が少ないことに加え、目的とする細胞に分化誘導する必要がなく、そのまま静脈内に投与するだけで傷害部位に遊走、集積し、生着して組織を修復するという特長を有しています。

脳梗塞を含む脳血管障害(脳卒中)は日本における入院原因の第2位であり、さらに要介護となる原因の第1位(介護保険で、介護が必要となった原因の2割弱)とされています。これまでに実施した脳梗塞モデルを用いた動物試験では、CL2020の静脈内投与により、運動機能障害の改善効果を示すことが確認されています。CL2020は、傷害を受けた神経回路を修復することで運動機能障害を改善する可能性があり、脳梗塞治療の新たな選択肢になりうると考えています。

【臨床試験の概要】

試験薬剤名	CL2020
対象疾患	脳梗塞
試験の目的	脳梗塞患者を対象に、CL2020を単回静脈内投与した際の安全性及び有効性についてプラセボを対照に検討する。

当社は今後も様々な疾患に対して Muse 細胞製品の研究開発を推進し、患者さんの QOL 向上に貢献すると共に KAITEKI 社会の実現へ向けて事業展開してまいります。

以上

[プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社生命科学インスティテュート 総務・法務部 広報担当 TEL 03-6896-8743

株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 TEL 03-6748-7140

[臨床試験お問い合わせ窓口]

株式会社生命科学インスティテュート 再生医療部門

LSII-HO-RM-CTI-ing@cc.lsii.co.jp